

平成 30 年 11 月 01 日

(一財) ボーケン品質評価機構課長	坂井 史治 様
(一社) 日本ゴム工業会事務局長	青木 正己 様 (欠席)
ウレタンフォーム工業会専務理事	大川 栄二 様
西川産業(株)品質管理室長	志村 洋二 様 (欠席)
(株)ブリヂストン加工品新事業開発室課長代理	中西 貴浩 様
(株)ロマンス小杉マーケティング部MD	引地 信之 様 (代理: 井上 様)
西川リビング(株)健康商品部課長代理	山田 善久 様
(一財) ボーケン品質評価機構東京営業所主任	丸山 智生 様
*オブザーバー	
(株)ロマンス小杉マーケティング本部部長	小出 登 様
(一社) 日本寝具寝装品協会専務理事	奥谷 孝良 事務局長 池田 努

JBA 第 5 期業種別委員会 : 第 5 回ウレタン・敷部会 議事録

記

1. 開催日時 平成 30 年 10 月 26 日 (金) 10 : 00 ~ 12 : 00
2. 開催場所 東京 : (一社)日本寝具寝装品協会 日本橋小舟町事務所 ☎03-6661-0213
大阪 : 西川リビング株式会社 本社ビル TV会議室 ☎06-6262-9230

3. 議題

(1) JBA ラベル(マット敷)運用規定について

ガイドライン(案)について前回の修正等に関して説明を行った。(大川委員)
その中で下記の意見・質問があった。

【タイプに関して】

- ・低反発/一般/高弾性 の 3 タイプに分けられているが、一般(15~50)の分類を「一般(15~35)」「高反発(35~50)」に分けてはどうか。
- ・高反発の表現を生かすのなら、低反発/一般/高反発/高弾性の分割が必要と考える。

→市場状況の調査や境界とする数値のエビデンスの取得、ウレタン工業会との協議等が必要と考えられることから、現時点での即時変更は難しい状況であるが、「高反発の定義」及び「タイプの細分化」については優先課題として部会にて検討を進めていく。

【体圧分散測定に関して】

- ・機種によって色彩の出し方が自在に出来てしまうのではないかと。
→機種ごとに上限値・下限値等を規定した設定方法のマニュアルを作成しており、これに対応できるものと考えている。

- ・一般品との比較が必要なのではないか。
→陳列されている他の商品との比較を目的として個々の性能を表示しており、購入者が候補商品同士を比較してもらえれば良いと考えている。
- ・体圧分散測定試験を依頼できる機関先として、どこがあるか把握しておく必要があるのではないか。
→実運用までに、試験依頼可能な期間を調査しておく。

【保温性に関して】

- ・プロファイル加工の製品の試験は、どのように行うのか。
→プロファイル加工の製品についても、製品厚で試験を行う。

【その他】

- ・バランスタイプ(分割タイプ)は、今回のJBAラベルの対象外となっている。他の会員と同様に、JBAラベルが使用できる環境を整えてほしい。
→試験が複雑になってしまうなどの障害があり今回は対象外としたが、今後の課題として検討を進めていく。
また、ガイドラインに「当面は、単層・積層タイプを対象とする。」を記載する。

(2) ラベル認証機関及び試験項目等料金について

- ・ラベル認証機関は、当面 ボーケン品質評価機構を主体とし、日本繊維製品品質技術センター(Qテック)等を加えていく方向で調整を図っていく。

(3) 11月説明会(体圧測定デモ他)について

- ・推奨測定機種「タクタイルセンサシステム」(ニッタ株式会社製)及び「SRソフトビジョン」(住友理工株式会社製)のデモンストレーションを説明会の開始前・休憩時間中・終了後に行う。(各製造企業が説明員を派遣)

(4) その他

- ・圧縮梱包による硬度変化に関しては、11月6日開催のウレタン工業会の部会にて承認後、6か月程度の期間を目処にデータの収集を行う予定。
- ・弾性試験については、各社の保有データの提出及び試験品の提供への協力依頼をお願いした。

以上

*次回の開催予定については、調整後に改めて開催候補日をご連絡いたします。